【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公表番号】特表2008-521507(P2008-521507A)
【公表日】平成20年6月26日(2008.6.26)
【年通号数】公開・登録公報2008-025
【出願番号】特願2007-543565(P2007-543565)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　2/02　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/46　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　2/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　2/02　Ｚ
Ｃ０２Ｆ　1/46　Ｚ
Ａ６１Ｌ　2/18

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月19日(2008.11.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも一つの陰極を含む少なくとも一つの電極と、少なくとも一つの陽極を含む少なくとも一つの電極と、を有する少なくとも二つの電極と（前記陰極が器具を支持し、器具に対して電気的接続を提供するトレーを含み、前記陽極がタンクを含む）；
前記陽極と前記陰極を分離するための少なくとも一つの絶縁体と；
前記タンク内に配される電解液とを有し；
該電解液に少なくとも一つの酸化剤を生成するために、前記陰極と前記陽極間の電気ポテンシャルが電解液を通して電流を流すことができる、
器具の殺菌装置。
【請求項２】
さらに電解液貯蔵コンテナを有する、請求項１記載の装置。
【請求項３】
前記電解液貯蔵コンテナが交換可能である、請求項２記載の装置。
【請求項４】
前記電解液貯蔵コンテナが、該コンテナを前記装置に接続する時だけ前記タンクに電解液を流すことを許容する急速停止バルブをさらに有する、請求項３記載の装置。
【請求項５】
前記装置に前記電解液貯蔵コンテナを認識させ、該貯蔵コンテナ内の電解液の残量を測定するマイクロプロセッサ回路をさらに有する、請求項２記載の装置。
【請求項６】
塩水製造デバイスをさらに有する、請求項１記載の装置。
【請求項７】
前記器具が前記トレーと接触する、請求項１記載の装置。
【請求項８】
酸化還元測定デバイスをさらに有する、請求項１記載の装置。

【請求項９】
殺菌中に発生する水素ガスを除去するための通気孔または反応器をさらに有する、請求項１記載の装置。
【請求項１０】
前記トレーが多孔性である、請求項１記載の装置。
【請求項１１】
器具の内部に電解液を循環させるための管をさらに有する、請求項１記載の装置。
【請求項１２】
タンクに電解液を配するステップ；
タンクから電気的に絶縁されたトレーに器具を置くステップ；
電解反応において前記タンクが陽極に、前記トレーが陰極になるように、該タンクとトレーの間に電気ポテンシャルを提供するステップ；
電解液に少なくとも一種の酸化剤を生成するステップ；
とを有する器具の殺菌方法。
【請求項１３】
器具を置くステップが、器具とトレーを電気的に接続するように置くステップである、請求項１２記載の方法。
【請求項１４】
器具の表面に水素ガスを生成するステップをさらに含む、請求項１３記載の方法。
【請求項１５】
電解液の特徴的値を測定するステップをさらに含む、請求項１２記載の方法。
【請求項１６】
所望の範囲内に前記特徴的値を維持するために電気ポテンシャルを調整するステップをさらに含む、請求項１５記載の方法。
【請求項１７】
前記器具の内部表面または内部構成に電解液を循環させるステップをさらに含む、請求項１２記載の方法。
【請求項１８】
電解反応中に発生する水素ガスを通気または反応させることにより除去するステップをさらに含む、請求項１２記載の方法。
【請求項１９】
滅菌溶液で器具をすすぐステップをさらに含む、請求項１２記載の方法。
【請求項２０】
加熱空気で器具を乾燥するステップをさらに含む、請求項１２記載の方法。